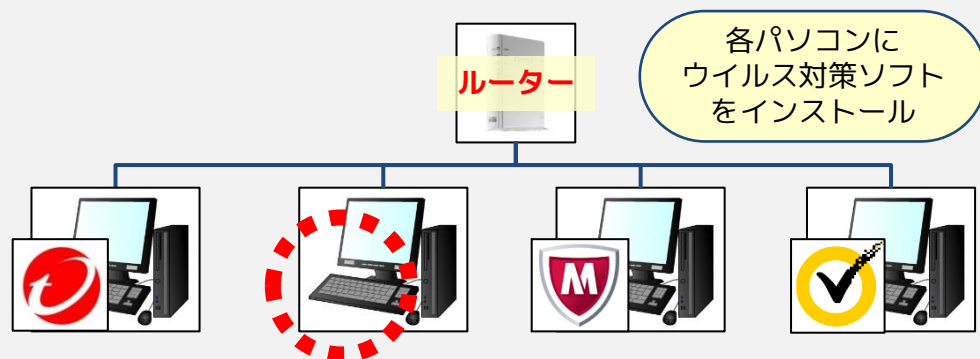


最近良く聞く UTMってなに？特集

最近皆さんよく聞くIT用語「UTM」について、ITが苦手な方でも非常にわかりやすく、解説致します。

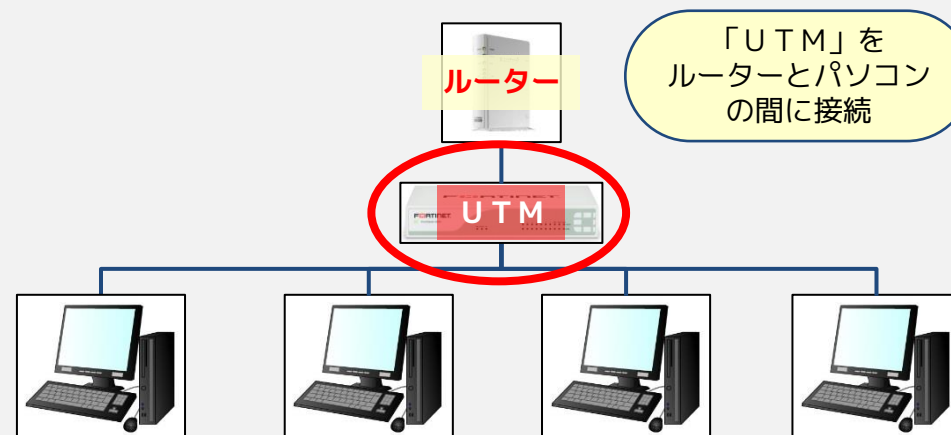
■これまでのウイルスへの対策（ウイルス対策ソフト）



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンが少ない場合、金額が安い。 ・インターネット上のウイルス以外（USBやスマホ経由など）のウイルスにも対応できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・1台ごとの管理のため、上記のような「インストール忘れ」があった場合、ウイルスに無防備になる。 ・基本的に、新種のウイルスには対応できない。

シマンテック社副社長ブライアン・ダイ氏はこう言っています。
「ウイルス対策ソフトは仕組み上、全サイバー攻撃の**45%**しか防げない」

■これからのウイルスへの対策（UTM）



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中のほぼ全てのウイルスへ対応できる。 ・各パソコンへの導入作業がいらない。（つなぐだけ） ・UTM上で、インターネットでのサイト閲覧を制御したり、使うソフトを制限したりできる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・USBやスマホ経由のウイルスには対応できない。 ・ウイルス対策ソフトと比較すると金額が高くなる。

UTMは「金額が高くなる」と書きましたが、UTMは**スペックによって価格が大きく変わる**ため、オーバースペックな上位機種を選択すると不必要に高額になりかねません。**必要最小限のモデルを正しく選択**することが、適正なコストといえます。

イーグル事務機では、お客様の環境をお伺いさせていただき、最も最適かつ安価な機種をご提案させていただきますので、ご安心ください。

2017年5月の新聞記事

ランサムウェア（身代金要求型ウイルス）としては**史上最大の流行**となった「WannaCry（ワナクライ）」。

日本では日立製作所、川崎市上下水道局、JR東日本高崎支社など600か所・2000端末以上が感染し、一時的に**業務が停止**した。全世界では150か国にも及び、30万件以上の被害が出ていると推測されています。

ランサムウェアとは、感染するとファイルを読めなくしたり、パソコンやスマホを起動できなくしたりして「**戻すには金を払え**」と脅すウイルスのことです。

下の画面は、「WannaCry」の感染後の脅迫画面です。

ファイルを暗号化したこと、戻すためには金を払え、7日以内に払わないと戻せない、などの脅迫文が書かれています。

左側には、期限までのカウントダウンタイマー、下側にはビットコイン（仮想通貨）での支払い画面が表示されています。

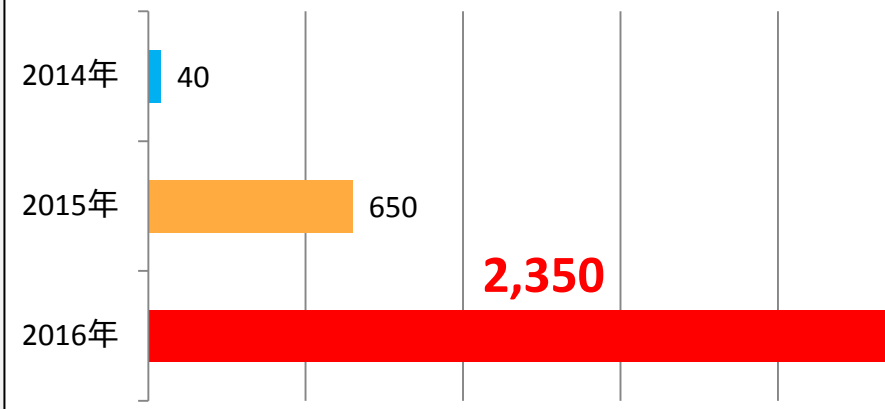
サイバー被害

自治体や病院が業務停止に



国内で大流行中のランサムウェア

法人ユーザからのランサムウェア被害報告件数推移（日本）



上記グラフは、あくまで**法人からの報告件数**に絞っております。ランサムウェアは、社内の共有サーバーなどに保存されたファイルやデータを暗号化したことにより、業務遂行が不可能となり、非常に大きな問題となってしまいます。そういったことから、法人ユーザーからの被害報告があがりやすい傾向となっています。

もちろん、個人ユーザーでもランサムウェアの被害は発生しています。しかし、法人ユーザーほど深刻な事態に至らないため、被害報告などが行われていないと予想されます。

ランサムウェアに感染してしまうと、ウイルス製作者以外には**解除は不可能**なため、弊社を含めた世界中の企業で、下記の対策を行う動きが加速しております。

ランサムウェアへの有効対策

- 1 「UTM」の導入 ※詳細は表面にて
- 2 怪しいメールは開かない
- 3 WindowsやAdobe等のソフトの更新